

# 社会資本整備総合交付金チェックシート

計画の名称: 28 通学路等の生活空間における交通安全対策を推進する整備

事業主体名: 弘前市、八戸市、十和田市、つがる市、横浜町、おいらせ町、南部町、階上町

チェック欄

I. 目標の妥当性	
①上位計画との適合	
1) 上位計画等と整合性が確保されている。 (上位計画等) 1 道路の中期計画(東北地方版) 2 未来への挑戦(青森県基本計画)・各市町村基本構想 3 広域道路整備基本計画(青森県) 4 青森のみちの将来像	○
②地域のニーズ・課題への対応	
1) 地域の道路整備の状況等、現状分析が適切になされている。	○
2) 地域のニーズ・課題を踏まえて目標が設定されている。	○
3) 客観的かつ具体的な目標となっている。	○
II. 計画の効果・効率性	
③目標と事業内容の整合性等	
1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
3) 指標・数値目標が分かりやすいものとなっている。	○
4) 関連社会資本整備事業は基幹事業と一体性が確保されている。	-
5) 効果促進事業は基幹事業の効果を高める内容となっている。	-
④事業の効果	
1) 十分な事業効果(成果目標の達成)が確認されている。	○
2) 他の事業との連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
3) 事業効果をより高めるため、ハード事業とソフト事業を効果的に組み合わせる等の工夫がなされている。	-
III. 計画の実現可能性	
⑤計画の具体性・適時性	
1) 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○
2) 計画期間内に優先して実施するものとなっている。	○
⑥円滑な事業執行の環境	
1) 計画に記載された事業に関連する地方自治体・地元等の理解が得られている。	○
2) 事業実施のための環境整備が図られている。	○